

解 答 速 報

福岡大学医学部医学科(英語)
2026年2月2日(月)実施

I

我々の思考や判断の質ということになると、通信メディアが提供する情報の量は、それらのメディアが情報をどのように提供し、我々の頭がそれをどのように吸収するかというほどには重要ではない。

II

12	14	17	20
----	----	----	----

III

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
1	3	2	4	4	1	2	3

IV

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
5	4	3	1	2	5

V

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	5	4	6	7	3	2
B	4	6	1	7	5	3
C	4	2	5	7	1	3
D	4	1	5	6	7	3

比較を骨格とする和訳英文は平易な節理解と基本的な語彙が試されるだけであった。内容一致も 11 の the same のみが受験生の迷いを誘うものとなっているが、例年に比べ素直な選択肢ばかり。苦手とする受験生の多い文法の不適切問題も細かい知識を問う難問が一切なかった。発音・アクセントは o に対する理解ができていれば満点を取れる。差し替えが起きた整序英作も平易な問題ばかりだったが、D の the train arrival time だけがやや不自然な表現に思われる。この表現以外には節でも（3 人称変化がないため）作れないという点で受験生は迷うかもしれない。

△難易度

やはり最低でも 8 割は確保しなければならない平易な問題構成だった。内容一致や整序英作のミスはなくさなければならないだろう。高得点争いは避けられない。